

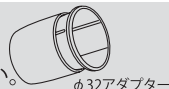
# 遮断機式手すりブラケット直角型N 施工説明書 BF-24

遮断機式手すりブラケット直角型Nは、手すりを向かい合った柱や壁に取付けて、手すり棒を開閉可能にする部材です。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。この施工説明書は大切に保管してください。

### 施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 木製手すりと連続してご使用される場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットをご使用ください。

- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んだφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。



- ブラケットピッチは φ35の場合、900mm以内 φ32の場合、700mm以内 で取付けてください。
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。
- 軸側ブラケット面付けは使用時に手すり棒が急落下しない回転の硬さに設定しています。取付け時に回転させる場合には両側に手すり棒を差込んで回転させてください。
- 階段など傾斜部にはご使用になれません。

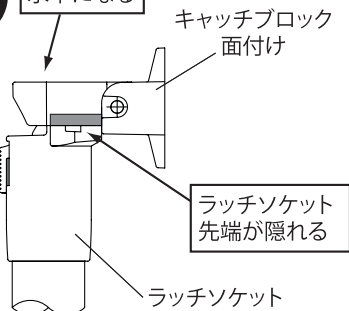


**警告**

!外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。  
!この商品は手すり棒先端のラッチソケットがキャッチプレートに確実にセットされている時に強度が保持されます。キャッチプレートにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。  
!手すり棒を垂直にセットした(ラッチソケットをキャッチブロック面付けにセットした)状態で、縦手すりとして使用しないでください。  
!手すり棒を垂直にセットする場合、セットが不十分だと事故や作動不良の原因となりますので手すり棒先端のラッチソケットがキャッチブロック面付けに確実にセットされていることをご確認ください。  
!キャッチプレート・キャッチブロック面付けから外された時に手前に引っ張るなどの力がかかると壊れる恐れがありますので絶対にしないでください。  
!軸側ブラケット面付けに潤滑剤を塗布されますと作動不良の原因となりますので、絶対にしないでください。



水平になる



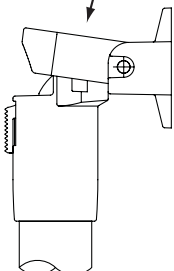
キャッチブロック面付け

ラッチソケット先端が隠れる

ラッチソケット



斜めになる



※キャッチブロック面付けの取付け方法については施工手順を参照願います。

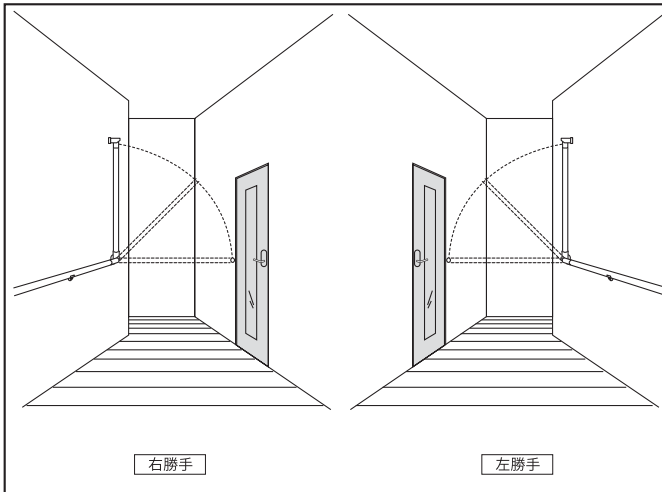
## 遮断機式手すりブラケット直角型N [BF-24] 梱包部品図

1	キャッチブロック面付け	2	軸側ブラケット面付け 左右兼用タイプ 注意シール ※棒を差し込むと動きます。 ※丸字に折り曲げた状態で梱包されています。 ※注意シールは施工後はがしてご使用ください。	3	ラッチソケット	4	キャッチプレート	5	エンドキャップ
6	φ32アダプター	7	スペーサー 厚さ 4mm	8	ブラケット取付けねじ ※取付けの際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×40	9	手すり取付けねじ ※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×20		

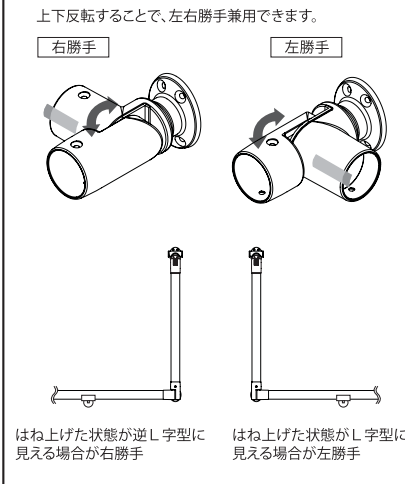
## 遮断機式手すりブラケット直角型N [BF-24] 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	キャッチブロック面付け	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
2	軸側ブラケット面付け	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
3	ラッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
4	キャッチプレート	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
5	エンドキャップ	A B S	1個
6	φ32アダプター	A B S	3個
7	スペーサー	A B S	1個
8	ブラケット・キャッチプレート取付けねじ ⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×40	鉄製	11本
9	手すり取付けねじ⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×20	鉄製	5本

## 遮断機式手すりブラケット直角型N 取付け勝手参考図



## 軸側ブラケット面付け外観図



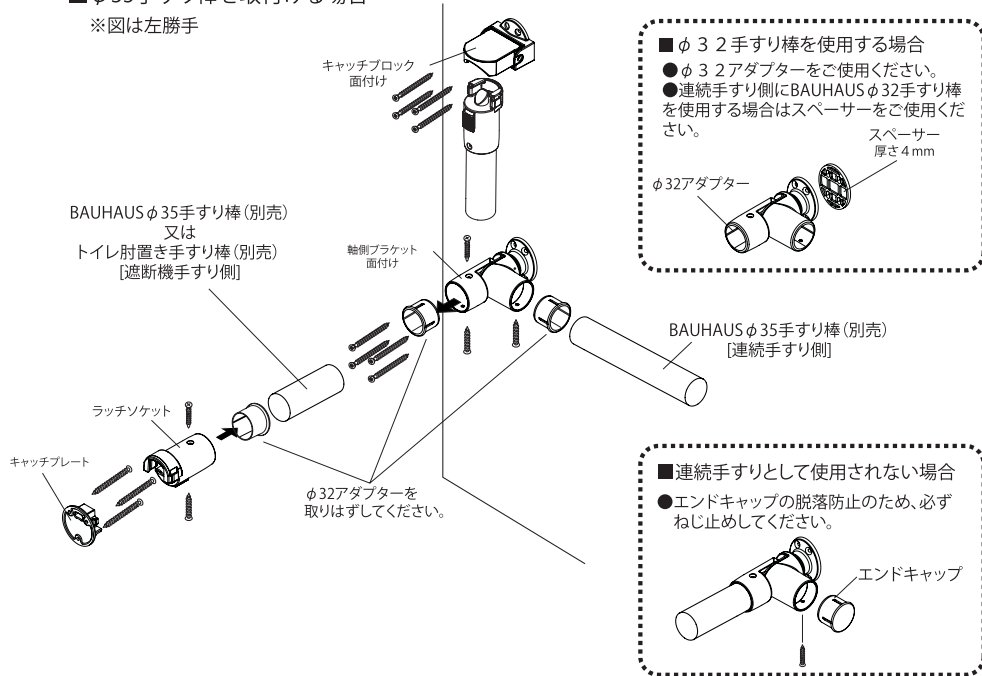
お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

# 施工手順

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

## ■φ35手すり棒を取付ける場合

※図は左勝手



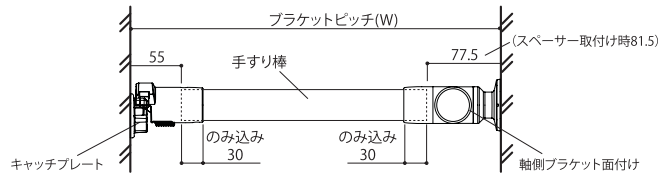
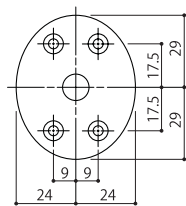
■φ32手すり棒を使用する場合  
●φ32アダプターをご使用ください。  
●連続手すり側にBAUHAUS φ32手すり棒を使用する場合はスペーサーをご使用ください。

■連続手すりとして使用されない場合  
●エンドキャップの脱落防止のため、必ずねじ止めしてください。

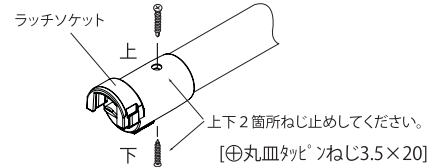
1. 軸の開閉勝手方向を確かめてください。  
軸側ブラケット面付けを、連続手すり棒と同じ高さにお客様と位置を決め取付けてください。

2. 取付け部のブラケットピッチ(W)を測り、手すり棒をカットします。  
手すり棒長さ:スペーサーを使用しない場合 W寸法 - 132.5mm  
:スペーサーを使用する場合 W寸法 - 136.5mm

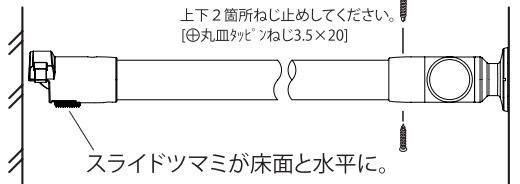
ブラケット座寸法



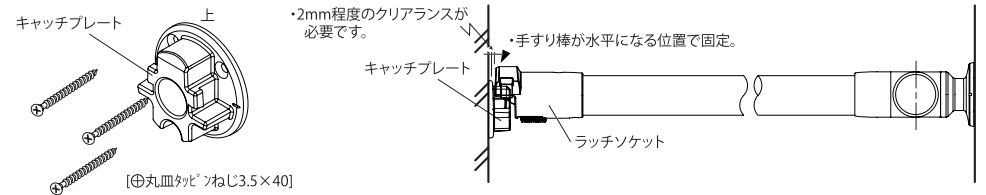
3. カットした手すり棒に、ラッチソケットを差し込み、ねじ止めしてください。



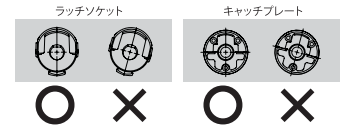
4. ラッチソケットを取付けた手すり棒を、軸側ブラケット面付けに差し込み、スライドツマミが床面と水平になる位置で、ねじ止めしてください。



5. キャッチプレートを壁に当てて、手すり棒が水平になる位置で取付けてください。

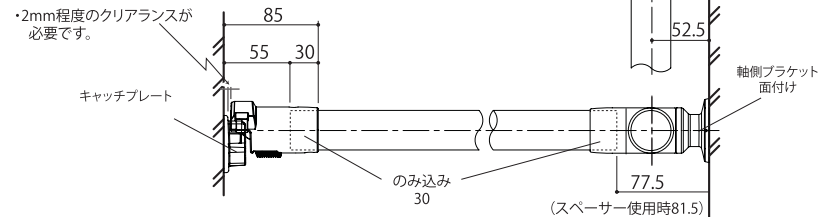
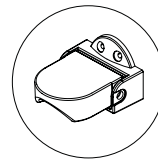


◎注) ラッチソケットとキャッチプレートは必ず垂直にセットしてください。斜めにセットするとラッチの噛み込みなどの誤動作の原因となります。



6. キャッチブロック面付けを取付けてください。

◎手すり棒が垂直でロックされる位置にキャッチブロック面付けを固定します。クリアランス目安=9mm。  
◎下地材があることをご確認ください。



7. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

お問い合わせ先



**マツ六株式会社**

商品企画部  
〒543-0061 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番41号  
TEL. 06-6774-2255 FAX. 06-6774-2248  
<http://www.mazroc.co.jp>